



## 災害が発生したら

### 正確な情報を収集する

- 倒れやすいものから離れ、落下物に注意。
- むやみに動かず安全を確認。
- 非常口やドア等を開けて避難口を確保。
- 避難は徒歩で、荷物は最小限に。  
(火を扱っている場合は、身の安全を確認後火の始末)
- エレベーターを使用せず階段で避難。  
(本学のエレベーターは地震が発生した場合、自動的に停止するシステムになっています。)
- 正確な情報収集に努め、なるべく集団で行動。
- 負傷者の救護や初期消火に協力。
- 家族との安否確認および大学へ安否連絡。

## 地震発生直後は裏面へ



## 大学への連絡方法

### 安否連絡について

大地震が発生した場合、本学は学生の安否確認を行います。  
地震発生時に登校していない場合は、連絡可能な状況になり次第、下記の方法で大学に連絡してください。

#### I・Eメール

[gakuseika@bunri-c.ac.jp](mailto:gakuseika@bunri-c.ac.jp)

#### II・電話

**04-2954-7575**(代)

※電話がつながりにくくなる可能性が高いのであるべくEメールで連絡してください。

### 報告事項

- ① 学籍番号
- ② 氏名
- ③ 本人・家族の状況
- ④ 自宅や付近の状況
- ⑤ その他



## 日頃の準備

大地震の発生を防ぐことはできなくても、適切な準備を行うことで被害を軽減することができます。どんな備えが必要か考えておきましょう。

- 避難場所の確認 (大学付近および自宅周辺等)
- 家族との連絡方法および待ち合せ場所の確認
- 災害伝言サービスの確認と登録 (メール宛先等の事前登録が必要)
- 帰宅ルートおよび所要時間の確認 (災害時徒歩約 2.5 km/h)
- 緊急時メモの作成・記入
- 具体的な情報収集手段および緊急避難場所等の確認 (大学および通学途中)
- 転倒防止対策や緊急時アイテムの確認
- 大学および友人等への連絡方法の確認およびリスト整備

本マニュアルは西武文理大学のホームページよりプリントアウトできるので、ご家族にも事前にお伝えください。  
<http://www.bunri-c.ac.jp/univ/campuslife/bousai.pdf>



## 緊急避難アイテム

### 日頃から準備・携帯しておく便利な物

- 現金 (小銭も)
- 健康保険証 (家族、友人の連絡先を記入)
- タオル・ばんそうこう・包帯
- 手回し充電ラジオ・ライト
- ティッシュ・ウエットティッシュ
- 非常用保温アルミシート
- チョコレート・あめなど
- 学生証 (免許証なども)
- アドレス帳
- 雨具 (カッパなど)
- 携帯充電用 USB ケーブル
- ポリエチレン製ゴミ袋
- 油性マジックペン
- 女性の必需品 (2日分)

### その他非常時に必要なアイテム

- 貯金通帳
- 常備薬とその処方箋
- 運動靴
- 卓上コンロ
- ひも・ロープ
- 予備電池
- スリッパ
- 使い捨てカイロ
- 印鑑
- 上着・下着・靴下
- リュック
- 懐中電灯
- ろうそく
- 缶切り・栓抜き
- 洗面用具
- 非常用食料・水

memo

※ 記入は油性のペンを使用してください。



## 災害時の対応マニュアル

「災害時に落ち着いて行動しよう」  
「自分の命は、自分で守ろう」



## 家族への連絡方法

### NTT災害伝言ダイヤルサービス

地震など大災害発生時に、安否確認などの電話が爆発的に増加し、つながりにくい状況になった場合、提供されるサービス。



市外局番 電話番号 事前に記入しておきましょう

市外局番 [ ] - 電話番号 [ ] - [ ]

※被災地の方も、被災地以外の方も利用方法は同じです。

- 利用可能な端末 / NTTの一般電話、公衆電話、携帯電話
- 番積伝言数 / 1 電話番号あたり 1 ~ 10 伝言
- 録音時間 / 1 伝言 30 秒以内
- 伝言保存期間 / 2日間 (48 時間 \* 自動消去)

事前の登録が必要です! (事前にテストをしてください)

### 携帯各社の災害伝言板サービス

大規模災害時に携帯電話から安否確認 (安否情報の登録) ができる災害用伝言板サービス。

あらかじめ指定したご家族や知人に対して、災害用伝言板に登録されたことをメールでお知らせする機能も提供される。また、インターネットからも安否情報の確認が可能。

### 各社の QR コードはこちら



- NTTドコモ <http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi>
- au/ツーカー <http://dengon.ezweb.ne.jp/>
- ソフトバンク <http://dengon.softbank.ne.jp/>
- ウィルコム <http://dengon.willcom-inc.com/>

## 緊急時パーソナルメモ

氏名 \_\_\_\_\_

学籍番号 \_\_\_\_\_

学部 \_\_\_\_\_

学科 \_\_\_\_\_

緊急連絡先 \_\_\_\_\_

住所 \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_

持病 あり なし 常用薬 あり なし

アレルギー あり ( ) なし ( )

自宅近くの避難場所 \_\_\_\_\_

家族との待ち合せ場所 \_\_\_\_\_

家族と共有しておきましょう

※記入は油性のペンを使用してください。

地震発生直後

揺れがおさまったら

落ち着いたら①

落ち着いたら②



**地震発生**  
身を守る

今いる場所は  
本当に安全？

**YES**  
その場所を動かない

**NO**  
避難場所へ避難



家族との  
安否確認

自宅に歩いて  
帰れる？

**YES**  
自宅へ

**NO**  
避難場所へ



大学へ  
安否連絡

POINT ▼

POINT ▼

POINT ▼

POINT ▼



大学にいるとき

- 窓や棚、ガラスなど割れたり中のものが飛び出しそうなものから離れる。
- 机の下などにもぐるか、バッグ・衣類などで頭を覆うなどして、落下物から頭と手足を守る。
- 余裕があれば、ドア付近にいる人は、ドアを開け、出口を確保する。
- 実習中などで周囲に危険なものがある場合は、すみやかにその場から離れる。
- 広場やグラウンドなど、落下物がない場所にいる場合は、その場で座り込み揺れがおさまのを待つ。

### 自分自身の心構え

- 冷静に、落ち着く。
- 建物の傾き、壁のひびなどを確認。
- 火災が起きていないか？火災の場合は自分の身が安全な範囲で周囲の協力を得ながら初期消火。また、消火が困難と判断した場合は、火から離れる。
- 負傷者はいないか？負傷者がいる場合は安全な範囲で周囲の協力を得ながら応急手当をし、事務局へ連絡。
- 余震の可能性もあるため、あわてずしばらく様子を見る。
- ガラス、黒板、ホワイトボードなどが倒れる恐れがなく、天井からの落下物が無いと確認できた場合は、動かない方が安全である。

### 行動に移るときの注意点

- 火災の場合は煙を吸わないよう、タオルなどで口を覆う。
- 移動する場合は、教職員の指示により、エレベーターを使わずに階段で移動する。

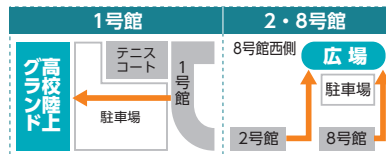
### 安全が確認できたら、以下の集合場所へ

- 1号館は高校陸上グラウンド。
- 2号館、8号館は8号館西側駐車場広場。
- 建物の外にいる場合はどちらか近い場所。

### 集合場所での行動

- 受付の教職員から「災害報告カード」を受け取り、氏名等記入後ただちに提出。
- 帰宅か学内に留まるかは、大学の災害対策本部が個々の学生に対して、指示する。その指示があるまで自分勝手な行動は慎む。

### 避難場所



### 帰宅可能な場合

- 帰宅可能な場合は、受付の教職員から「帰宅報告カード」を受け取りカードに氏名などを記入し提出後帰宅する。
- 帰宅時は、できる限り同じ方向の2人以上で行動する。
- 帰宅後、速やかに大学へ安否連絡する。

### 帰宅困難な場合

- 交通機関が停止するなどで帰宅困難な学生のために、学内に「一時避難場所」を設置します。本学には、災害対策用品が備蓄してあります。
- 「一時避難場所」に宿泊する場合は、教職員が氏名等の確認をします。
- 家族との安否確認は、自分自身で行ってください。
- 女性への一言  
交通機関の停止など、帰宅困難のことを考え、日頃から身の廻りの必需品に関し、2日分の備えをしておいてください。



通学中

- 周囲の状況に注意し、身の安全の確保を最優先とする。
- 塀、電柱、自動販売機などから離れ、落下物にも注意する。
- 「帰宅するか」「登校するか」または、「最寄りの安全な場所に避難するか」は、自分で判断してください。

- 被害状況を正しく把握する。
- 事前に家族と相談して決めた避難場所に移動する。ただし、被災場所やその場の状況によっては安全を最優先し、別の避難場所に移動する。
- 避難中は警察や消防の指示に従う。

家族の電話番号			
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-

- 交通機関がマヒしているときに多くの人が一斉に帰宅すると各所で混雑が発生するため、余裕をもつことが大切です。周りの状況を確認してから帰宅しましょう。また、無理に帰宅することは新たな危険を招く恐れがあります。その時は勇気をもって大学にとどまることも考えてください。
- 災害時の歩行速度は1時間約2.5km程度、10kmは4時間を要することになります。自分の行動可能な距離内で帰宅を考えてください。(目安)
- 日没後の行動は危険です。夜間は犯罪に巻き込まれる可能性もあるため、1人での行動は避けましょう。

月日	日の出	日没
3月20日	05:45	17:53
6月20日	04:25	19:00
9月20日	05:27	17:41
12月20日	06:46	16:31

\*悪天候は1時間早く暗くなります。